

(様式第4号)

真田地域協議会 会議概要

1	審議会名	第11回真田地域協議会
2	日時	令和5年2月28日(火) 午後7時00分から午後7時45分まで
3	会場	真田地域自治センター3階 講堂
4	出席者	荒木克子 委員、木島徳行 委員、清水由香 委員、高寺由美子 委員、田畑和秀 委員、廣瀬しず江 委員、堀内和子 委員、堀内正寿 委員、堀内靖子 委員、松本規男 委員、丸山美奈子 委員、皆川克彦 委員、宮島幸男 委員、柳沢泉 委員、柳沢芳明 委員
5	市側出席者	田中地域自治センター長、羽毛田地域自治センター次長兼地域振興課長、半田市民サービス課長、小林産業観光課長、皆瀬建設課長、松木教育事務所長、山浦真田消防署長 古平文化財保護担当係長、谷口文化財保護担当主査 宮島課長補佐兼地域政策担当係長、櫻井主査、坂井主事、望月主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和5年3月3日
協議事項等		
会議次第		
(事務局) 滝沢副会長の欠席、廣瀬委員の紹介		
1 開会(進行: 田畑会長)		
2 会長あいさつ		
3 センター長あいさつ		
4 前回書面審議での決定事項について		
(事務局から説明)		
→質疑無し		
5 協議事項(進行: 田畑会長)		
・ 上田市文化財保存活用地域計画概要について(生涯学習・文化財課)		
(生涯学習・文化財課 古平係長から説明)		
【質問】		
(委員) 1ページの「文化庁の認定を受け」とあるが、この計画は上田市が特別に認定を受けたものなのか、それともほかの自治体も認定を受けているものなのか。		
(古平係長) 今認定を受けているのは、県内では松本市、千曲市で、長野市が作成中と伺っているので上田市はかなり早いほうだと思う。		
(委員) これはしっかりと計画を作りこまないと認定にはならないものなのか。		
(古平係長) 基本的な計画の仕組み自体は文化庁が示すものがあるのだが、そこから地域ごとの文化財の状況や事情に合わせて作り上げていく。上田市でも文化庁に修正の指示を受けたり協議をしたりと、かなりのやり取りを経て作成された。		
(委員) この計画が認定されることの上田市としてのメリットは何か。予算が付くのか？		

(古平係長) 計画策定により補助金がかさ上げがされるものもあるが、現在上田市で活用している補助金ではそれらは当たらない。認定の一番のメリットは上田市が示す計画を文化庁に認めていただいて、それらに基づいて地域で協働して文化財の活用をしていく事にある。これから地域文化財の保存活用の上田市が進んでいく方向性に対して、国が認めているという点にある。

(委員) 最後の8ページになるが、行政の役割についてはわかったが、市民や団体、所有者の方々の役割について、特に所有者の方々については理解を得られないとなかなか進んでいかない部分があると思うが、それらを進めていく事についてどのように考えているか。

(古平係長) 今具体的に動いている事業のわかりやすい例でいえば日本遺産事業になる。様々なボランティアガイドや研究団体などの市民団体のほか、地元企業にも商品開発をしていただいたり、ロゴマークの入った商品の販売などについて御理解をいただいたりしながら進めている。住民自治組織にも関わっていただきながら様々な活動をしていただいたり、教育機関にも学習ツアーを企画していただいたりと様々な分野で関わっていただいている。多くの皆さんと関わり合いを持ちながら、特にこの日本遺産は令和2年に認定を受けこれで3年となるが、間にコロナの影響などもありまだまだこれからの部分もある。文化財を生かした活用事業という点においては上田市での先進的な取組として、参考にしてもらいながら活用していければと思う。

(委員) 上田城の発掘や櫓の再建、寄付金の話題をなど新聞記事で目にするが、そういった分野も(この計画は)関係するののか。

(古平係長) 文化財のあらゆるところに関わってくると思う。上田市では櫓の復元については教育委員会で所管を持っており、また整備計画では旧市民会館の解体と武者溜り整備という計画がある。寄付のお話もあったが、この様な計画を進めていくにあたり、一部の方の望みではなく、多くの市民の方の願いであるということが大事である。そのためにも多くの市民の方にも関わっていただき、子どもたちにも学んでいただいたり、地域の誇りとなるよう理解を得ながら進んでいけたらと思う。

(委員) 地域に偏りがあるように見えるが、計画ではこの地域では全く別な話のように思えるがこのような具体的な計画は地域ごとに順次進めていくというような考え方なのか。

(古平係長) 計画の中では重点地域を設けているが、地域ごと順番に計画していくというわけではない。まずは地域の中で機運が醸成していく事が理想的だと考える。行政がすべての地域に入って活動を引っ張っていくというより、地域の中で文化財に対する思いが蓄積されていく事で盛り上がりが出てくる、そういったもののきっかけとなる計画であると考えている。今回初めてこの計画を策定し、この後の計画期間で上田市総合計画に基づいて、もちろん急激な変化が起きるということではないが地域中にも活動が広がっていければと考えている。

(委員) 日本遺産の関係で観光資源として考えていくということだが、真田氏の関係で群馬県との関係や蚕都でも富岡製糸工場などがあると思うがそのようなことで群馬県との折衝や、またはこれから考

えていく事などあるのか。

(古平係長) 真田の関係でいうとこれまでも真田丸が放送された時などで群馬県との連携はあるが、今現時点での動きがあるわけではない。また、蚕都の関係も今現時点でそういった動きがあるわけではないが、今後そういったトピックスを地域の皆さんと一緒に考えていけたらと思う。

(委員) これは上田市の計画だと思うが、7ページの重点地区の図の中には真田、武石が入っていない。もちろん重点地区の説明であるのは承知しているが上田市であることは忘れないでほしい。あとから合併した小さな地域に意識がないように感じる。こういうところに現れていると思う。(計画を)進めるにあたって重点的に進めるのはいいが、根底の意識の中で上田市ということを忘れないでいただきたい。

(古平係長) おっしゃる通りだと思う。本編の中では全体の地図を掲載しているが、概要版の中ではスペースの関係でこの部分だけを切り出してしまった。御不快になられたのは申し訳なかった。この概要版も多くの市民の方の目に触れるものなので、今回の御指摘を十分に反省していきたいと思う。

6 報告・確認事項

(1) 次回地域協議会の開催日程について

- ・次回はわがまち魅力アップ応援事業協議、令和5年4月からの地域協議会日程の決定を予定会議開催は計画どおり3月22日(水)19時からとする。

(2) その他

事務局から

- ・丸子地域協議会日より、武石地域協議会活動日誌の写しを配布
- ・次回協議会終了後に、真田郷まちづくり推進会議の評議員会を開催予定
- ・4月から団体推薦で変更の予定がある方は連絡願いたい

7 閉会